# 活人形

豊島与志雄

青空文庫

# 一

むかし、インドに、ターコール僧正というえらいお坊さまがいました。むずかしい病気をなおしたり鬼をおいはらったり、ときには、死人をよみがえらしたりするほど、ふしぎな力をそなえていられるという評ばんでした。そしてたいへん慈悲深くて、なんでも貧乏な人たちにめぐんでやり、自分は、弟子の若いお坊さんと二人きりで、大きな、ぼだい樹のそばの小さな家に、つつましく暮していました。

そのターコール僧正が、ある日、庭のぼだい樹のこかげのベンチに腰をおろして、休んでいますと、みすぼらしいなりをした、年とった男がたずねてきました。悲しそうなおどおどしたようすで、僧正様にお祈りをしていただきたいと申すんです。

「お祈りはわたしの仕事だ。してあげましょう」とターコール僧正は答えました。

男はしばらくもじもじしていましたが、顔をふせていました。

「お礼のお金をもっておりませんが、ただでお祈りをしてくださいましょうか」

「お祈りはわたしの仕事だ。お金がなくてもしてあげましょう」を僧正は答えました。

男はしばらくして、またいいました。

「ここではございません。わたくしどもの宿まできてお祈りをしてくださいましょうか」

「お祈りはわたしの仕事だ。行ってあげましょう」と僧正は答えました。

男はしばらくしてまたいいました。

「わたくしのためにではございません。人間のためにではございません。こわれかけた大きな人形が一つございます。そのためにお祈りをしてくださいましょうか」

「お祈りはわたしの仕事だ。その人形のためにしてあげましょう」と僧正は答えました。

男はうれしそうに、眼をかがやかして、僧正の顔をながめていいました。

「ほんとうでございますか」

「お祈りはわたしの仕事だ」と僧正はほほえんで答えました。「一文もお金をもらわないでも、あなたの宿まで行って、そのこわれかけた人形のために、お祈りをしてあげましょう」

## 二

大きなぼだい樹のあるターコール僧正の家から、一里ばかりはなれた町のはずれに、きたない宿屋がありました。見すぼらしい年とった男は、そこへ僧正を案内してきました。そしてみちみち、僧正へ自分の身の上を話しました。

彼はコスモといって、女房のコスマと二人で、諸国をへめぐっている人形使でした。天気のよい日町や村の広場に人をあつめて、コスモが人形を踊らせ、コスマがマンドリンをひい

て、いくらかのお金をもらい、そして方々旅をしてあるいているのでした。ところが、そういう生活は時がたつにつれて、はじめほど面白いものではなくなってきました。天気は毎日晴れるものではありませんし、お金はいつももらえるとはきまりません。それに方々の土地も見つくしてしまいました。だんだん年もとってきました。人形もこわれかけました。いっそ故郷へ帰って、そこで百姓をしてる息子のところで、残った生がいを送ろう、とそう二人は相談しました。

ちょうどそのとき、この土地にたいへんえらい坊さまがいられるということを聞いて、二人は、今まで自分たちを養ってくれた人形のため、その坊さまにお祈りをしていただいて、そして故郷へ帰ろうと思ったのでした。

そういう話を、ターコール僧正はにこにこしながら聞いていました。

宿屋について、奥のせまい室にはいっていきますと、コスマはぼんやり考えこんでいました。

「僧正さまがいらしたよ」とコスモは大きな声でいいました。

コスマはびっくりして飛びあがるようにたってきて、ターコール僧正を迎えました。

僧正はあまりよけいな口をききませんでした。そしてすぐに尋ねました。

「人形は？」

「はい、これでございます」

コスモとコスマは、室のすみの釘にさがってる人形のおおいを取りました。赤と黄と緑と青

と紫との五色のしまのはいった着物をつけ、三角の金色の帽子をかぶり、緋色の毛靴をはいて、ぶらりとさがっていました。その帽子や着物や靴はもとより、顔や手先まで、うすぐろくよごれていて、長年のあいだ旅をしてあるいたようすが見えています。

僧正はそれをじっとながめました。

「お祈りをしてあげましょう」

僧正は紫の衣をきました。人形の前に香をたき、ろうそくの火をともしました。そしてじゆずをつまぐりながら、祈りをはじめました。窓からさしてくるぼーっとした明るみのなかに、香の煙がもつれ、ろうそくの火がちらついて、僧正の祈りの声はだんだん高まってきました。

人形が、びくりと動いたようでした。はげかかってうすよごれのしてるその顔に、ろうそくの光がうつって、ほんのり赤みがさしてきます。眼が大きくなります。今にも口をききそうです。その口元にはもう、やさしい笑みをうかべています……。僧正の祈りの声は高く低くつづきます。

コスモとコスマは、びっくりしたような気持で、人形の顔に見入っていました。もう眼をそらすことができないで、いっしんに見入っていました。僧正の祈りの声と、ろうそくの光と香の煙のなかで、人形がうっとり笑いかけたとき、コスモとコスマの眼からは、涙がはらはらと流れました。そして涙を流しながら二人は、人形の顔を見つめていました。

## 三

ターコール僧正のお祈りで生きあがった人形……活人形……。

そういううわさで、町はわきかえるようなさわぎでした。そしてその活人形の踊りを見ようとおもって、町の人はもとより、近在の人まで、美しく着かざって、町のにぎやかな広場に集ってきました。

見物人たちが美しく着かざってるのにくらべて、人形使の方はひどく粗末ななりでした。コスモはなんのかざりもない色のあせた黒い服をつけ、まんなかにすりきれたふさのついてる大黒帽をかぶり、木靴をはいていました。コスマは、赤茶けた服をつけて、古いマンドリンをかかえていました。そして広場の中には、うすいむしろがしいてあるきりでした。

けれども、コスモもコスマもいっしょうけんめいでした。その日にやけた年とった顔には、いつにない若々しい元気がうかんでいました。彼は額に汗をにじましながら、つよい調子でいいました。

「わたくしは、もう人形使をやめまして、故郷に帰るつもりでおりました。この人形も、もう人様にお目にかけないつもりでおりました。ところが、ターコール僧正さまのことをききまして、わたくしどもを長いあいだ養ってくれましたこの人形のために、一度お祈りをしていただきたいと考えました。そして僧正さまにお願いいたしました。僧正さまはすぐに承知

してくださいました。わたくしどもの宿まできてくださいまして、人形のためにお祈りをしてくださいました。そのお祈りのさいちゅうに、この人形はいきいきとした顔になって、わたくしどもに笑いかけました。わたくしは、わたくしどもは、それをはっきり見ました。ほんとうに笑いかけました。生きあがりました。わたくしどもは、ただうれし泣きに泣きました。……そして、人様のおすすめによりまして、この人形を、ターコール僧正さまのお祈りで生きあがったこの人形を、さいごに一度だけ、みな様にお目にかけることにいたしました……」

それは、いつも人を呼びあつめるこっけいな道化たあいさつとは、まるっきりちがった調子でした。見物人たちはへんな気がしました。そして、コスモが人形をそこへもちだしたのを見ますと、ふしぎでした。古いはげかかった人形の顔が、なるほど、いきいきとしていて、笑ってるようです……。

その人形の踊りが、またすばらしいものでした。年とったやせたコスモの手であやつられてるとは、どうしても思えませんでした。眼をみひらき、はれやかに笑いながら、だんだんはげしく、しまいにはまるで気でもちがったように、踊りまわりました。日の光に、金色の三角帽がきらきらとかがやき、五色の着物がにじのようにかがやきました。どう見ても、生きた人形が自分で踊ってるのでして、コスモはただそれについてまわってるだけでした。マンドリンをひいてるコスマも、人形を踊らせるためにひいてるのではなく、人形からむりにひかせられてるようでした。

見物人たちは、人形の踊りに見とれて、夢をみてるような気持になり、声をたてるものもなくただうっとりとしていました。コスモもコスマもむちゅうでした。もう息もつけませんでした。そしてとうとう、踊りのさいちゅうに、コスモは力がつきてばったり倒れてしまいました。同時に、コスマのマンドリンも、ぷつりと糸が切れました。

人形だけが、はれやかに笑いながら、ひとりで立っていました。

## 四

コスモとコスマとは、人形を大事にかかえて、故郷へ帰っていきました。たくさんもらったお金を、半分ばかり、ターコール僧正へおくりました。

ターコール僧正は、お金をたくさんもらっても一文も、もらわなかったときと同じように、別にふしぎがりもしませんでした。そしてそのお金をみんな、貧乏な人たちにめぐんでやりました。それから、二人の人形使のためにお祈りをしてやりました。

ターコール僧正がお祈りをしてるとき、コスモとコスマとは、故郷への旅をいそいでいました。コスモはいいました。

「ありがたい僧正さまだ」

「ほんとにありがたい僧正さまです」とコスマは答えました。コスモはしばらくしてまたい

いました。

「この人形は、わたしたちのためには、大事な人形だ」

「ほんとに大事な人形です」とコスマは答えました。

そして二人は、うち晴れた日の光をあおいで故郷への旅をいそぎました。

# 青空文庫情報

底本：「天狗笑い」晶文社
1978（昭和53）年4月15日発行
入力：田中敬三
校正：川山隆
2006年12月31日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 活人形

豊島与志雄

2026年10月1日　第二版

## 奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/